

## 倫理委員会（議事概要）

国立病院機構 東近江総合医療センター

日時・場所	令和元年7月8日（月） 18:15～19:40 きらめきB
構 成 員	(委員長) 辻川副院長 (副委員長) 目片副院長 (委員) 内科診療部長、薬剤部長、看護部長、事務部長、企画課長 外科診療部長 (外部委員) 山 びわこ学院大学 准教 古川 ふるかわ社労士事務所 代表 藤澤 浄光寺 住職 (オブザーバー) 院長 (事務局・書記) 管理課長
議 事 概 要	
(1) 前回申請課題(条件付承認)について ① 2019-07 申請者：北村 直美 課題名：「腹腔鏡下胆嚢摘出術における硬膜外麻酔療法の術後鎮痛効果」 (別紙資料に基づき修正内容について報告) ② 2019-09 申請者：大内 政嗣 課題名：「Birt-Hogg-Dube症候群の診断基準の確立と診療経験均てん化を目指した多施設共同研究」 (別紙資料に基づき修正内容について報告)	
(2) 申請課題について ① 2019-10 申請者：星 参 課題名：「副甲状腺腫瘍手術時のメチレンブルー使用」 (申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明) 概 要：術中の副甲状腺腫瘍摘出術を容易にする目的 審査判定：本件については条件付承認 (意 見) ・同意書にかかる説明内容について不十分であるため他施設の書類を参考に内容について見直しを行うこと。	

## 議 事 概 要

② 2019-11 申請者：村山 仁衣菜

課題名：「全身麻酔の術後HCUに入室する患者へのHCU看護師が行う術前訪問の導入～パンフレットを使用した術前訪問～」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：日々の業務の中で言動や、スタッフからの聞き取りにてHCU特有の不安が挙げられ、その内容を反映したパンフレットを作成し、術前訪問を行うことで不安の軽減が図れるかどうかについて術後の患者アンケートにより検証。

審査判定：本件については条件付承認

(意 見)

・アンケート用紙及びパンフレットを添付すること。

③ 2019-12 申請者：川瀬 正裕

課題名：「末梢静脈からのオキサリプラチンの投与時の血管痛に対する輸液加温器アニメックの有用性の検討」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：輸液加温器の使用による血管痛予防の有用性を明らかにし、オキサリプラチン投与時の血管痛予防を図ることとする。

審査判定：本件については承認

④ 2019-13 申請者：茶谷 恵美子

課題名：「手術室に応じた手術室看護師の役割別アクションボードの作成」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：災害発生時に備え、手術室看護師用役割別アクションボードを作成し、シミュレーションを通して当該手術室に即したものについて改良を行う。

審査判定：本件については承認

⑤ 2019-14 申請者：鳩 彩乃

課題名：「患者体験型勉強会を取り入れた、車椅子座位時の褥瘡予防の取り組み」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：患者体験型勉強会を実施し、勉強会前後の車椅子座位時の褥瘡予防について、看護師の意識及び看護実践の変容と褥瘡発生件数の現状や深達度、褥瘡治療日数の短縮に繋がるかについて検討する。

審査判定：本件については条件付承認

(意 見)

・勉強会実施前後にアンケートを実施し、また、質問内容も実施前後で変えること。

⑥ 2019-15 申請者：生田 一幸

課題名：「A病院に緊急搬送された患者の臨床像と気象条件などの外的要因との関連」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

## 議 事 概 要

概 要：滋賀県東近江地域における二次医療機関であるA病院に救急搬送された患者の臨床増と、その日の気象条件などの外的要因が関連しているかを検討。

審査判定：本件については条件付承認

(意 見)

- ・データ収集期間の開始日について訂正すること。
- ・オプトアウトについて作成すること。

### ⑦ 2019-16 申請者：豊田 幸香

課題名：「麻薬性鎮痛剤（レスキュードーズ）の自己管理に向けた取り組みについて」（申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明）

概 要：患者がレスキュードーズを自己管理できるよう麻薬管理の体制を整えることで、疼痛出現から内服するまでの時間を短縮し、効果的に鎮痛を図ることができるのか調査する。

審査判定：本件については条件付承認

(意 見)

- ・アンケートについて添付すること。
- ・臨床研究等の概要「当該病棟から全病棟へ展開していく」内容の文言を付け加えること。

### ⑧ 2019-17 申請者：伊藤 将大

課題名：「糖尿病教育入院前後での糖尿病治療に関する負担感情の変化～PAIDを使用した患者の負担感情変化の検討～」

(申請者から別紙資料に基づき研究等の実施計画について説明)

概 要：統一した指標を用いて糖尿病教育患者の負担感情を捉えることにより、看護介助の一助とするための基盤づくりを行うこととする。

審査判定：本件については承認

### (3) 次回開催日について

令和元年9月9日(月) 受託研究審査委員会終了後

以 上